

2006-2007
国際ロータリー第2510地区

ガバナー月信

No.5
2006
11



**GOVERNOR'S
MONTHLY
LETTER**
2006-2007
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2510



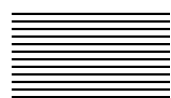
2006-2007年度 ガバナー 丸山 淳士 JYUNJI MARUYAMA

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 E-mail : rid2510@nifty.com

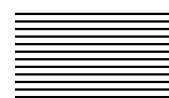
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510



2006 - 07年度 国際ロータリーのテーマ



率先しよう



CONTENTS _____

ガバナーメッセージ	1
ロータリー財団月間に因んで	2
ロータリー財団・国際親善奨学金委員会からのお知らせ	4
GSE（研究グループ交換）について御存知ですか？	5
地区補助金について	6
財団学友会の活動について	7
オン・ツー・ソルトレークシティ委員会からのお知らせ	8
台湾米山学友会主催シンポジウム	10
WCS 委員会活動報告	11
秋季キャンプ報告～青少年交換委員会～	12
「第25回全国ロータリー野球大会地区予選 RI 第2510地区親睦野球大会」を開催して ／2009-2010年度ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	13
ガバナー公式訪問	14
ロータリー財団寄付／米山記念奨学会寄 ／新入会員のご紹介	16
例会曜日・例会時間・例会場の変更について／文庫通信	17
出席報告	18
地区カレンダー（11月・12月）	19



国際ロータリー第2510地区ガバナー

丸山 淳士
(札幌真駒内 RC)

ロータリー財団の理解

ロータリー財団は1916～1917年度、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、国際ロータリーの6人目の会長アーチ・クランプが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でより良きことをするために基金を造ろう」と提案したことに始まりました。その後、1928年の国際大会でロータリー財団と名付けられ、1931年信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令化に非営利財団法人となりました。

最初はアーチ・クランプの夢は単なる夢に過ぎず、何の効果もなく年月が経過しました。1947年1月27日、ポール・ハリスが亡くなり、ロータリー財団はポール・ハリス記念基金を呼びかけ、それ以来寄付金が集まるようになり、今日のロータリー財団を築き上げました。

この歴史は、米山梅吉没後に東京ロータリークラブが呼びかけて誕生した、米山記念奨学会と全く同じ意味合いの上で発展したわけです。

ロータリー財団は、いわば全国の「ポール・ハリス記念基金」と言っても良い意味を持っているのです。

米山記念奨学会はロータリアンをカウンセラーにした有能な若手研究者に奨学資金と心の支えを提供するのに対し、ロータリー財団はアーチ・クランプの夢を実現すべく、全世界的規模の今日のプログラムを完成させたのであります。

このような共通点を考えてみますと、米山梅吉は日本におけるポール・ハリスであったと改めて感慨深いものがあります。

2006年の国際協議会で、ルイス・ビセンテ・ジアイ財団管理委員会委員長エレクトはロータリー財団の長期計画について次のように述べています。

- ①プログラムを保健、教育、環境、世界平和の4つの分野に統合する。
- ②財団が専門家の領域になってしまわないようにプログラムの数は増やさず、ロータリアンの奉仕活動を支援し、資金を提供する事に重点を置くようにする。
- ③すべての人々が参加することができ、無数の人々が恩恵を受けられる「メガプログラム」ができる。
- ④2010年までに、人道的プログラムは全プログラム予算の90%を占めるようになる。
- ⑤財団資金ニーズは毎年少なくとも10%の割合で上昇する。2007年で米貨1億5,000万ドル、2010年までに2億ドルが必要となる。
- ⑥10億ドル以上の恒久基金を持つ財団が、毎年2億5,000万ドル以上を必要とするプログラムに資金を提供できるようになる。
- ⑦恒久基金がすべての財団年次プログラムを支援し、使途不指定寄付を段階的に無くしていくことができる「恒久巨大基金」が誕生する記念すべき日がやってきます。
- ⑧長期計画を目的とした新しい協力関係を結ぶときが来ます。
- ⑨平和を維持していくために国際ロータリーおよびロータリー財団の役割がさらにも増して重要となる。
- ⑩政府でも対応しきれない溝を埋める重要な役割を担うようになります。

この夢に向かって私たちも「率先しよう」で協力していこうではありませんか。



ロータリー財団委員会 委員長
遠藤 正之
(札幌幌南 RC・PG)

ロータリー財団月間に因んで

国際ロータリーは1983～1984年度に11月をロータリー財団月間と決めました。(以前は11月15日を含む1週間を財団週間と呼んでいました)財団月間とは全クラブが財団プログラムを支援、推進し、参加する特別な月間であると同時に財団の意義を知る月間です。既にご承知と思いますが、この財団は1917年にアーチ・克蘭フが「社会のために良いことをしよう」と財団構想を唱え、1928年に「ロータリー財団」と名付けられたものです。先月のガバナー月信に去る8月6日、横浜で行われたロータリー財団地域セミナーについて記しましたが、今日はそれに次いで行われたワークショップについて要約することにしました。

☆学友の活用 黒田正宏 学友コーディネーター

財団奨学生が年々減少している。これはオリエンテーション時の説明不足のためか、自分の希望通りの所に行けないという事があるかもしれない。又奨学金を貰わなくても留学できるという傾向がみられ、世界的な傾向でもある。是非、名簿、学友会だより等を整備し、ロータリーの集合時の卓話等に参加の機会を作り、ロータリー財団の奨学制度及び留学の感激を披露、PRさせるように努める。会員が全て学友のロータリークラブが第2780地区に誕生し独立の会の運営をして成功している。学友に積極的な働き掛けが望ましい。

☆第3ゾーンにおける財団推進 小島 哲 RRFC

地区で財団推進が成功しているのは、3年にガバナーが決まっており、何の目的のために寄付を集めるかが明白になっているため集め易い。昨年は年次寄付1人220～230ドルであった。即ち奉仕活動に賛同してもらい寄付をする—先にプログラムありき—である。第2820地区の年次寄付は1人140ドルである。

☆2006-2007年度の目標 片岡信彦 RRFC

1. ポリオ撲滅に重点をおき更なるプログラムはしない。
 2. 平和および紛争解決の提唱者としてロータリーの関心を世界に広める。
 3. 恒久、大口寄付の記録更新
Every Rotarian, Every Year の達成
 4. ロータリーの公共イメージの向上
 5. 草の根レベルでの研修を充実させ、財団の用途を理解してもらう
 6. 財団プログラムの管理合理化
 7. 奉仕の2世紀において財団の長期構想を明確に描き、奉仕の夢を実現する
- 目的達成の方法
1. 日本恒久基金委員会と協力し25000ドル以上の寄付者を探す
大口寄付者(10000ドル以上)を地区で3名探す
 2. 寄付金0クラブの解消
第2510地区では年次寄付0クラブが1クラブあり残念
 3. ポール・ハリス・ソサエティ
1地区5人が目標

☆ロータリー財団の諸手続き 片岡暎子財団室長

恒久基金、年次寄付の増進のほか種々の寄付基金について触れ、遺贈友の会、慈善年金について説明があり、慈善年金は50才以上の加入者は年5%以上で年金を受け取れるのでPRしてほしい。そのほか財団の友クラブ、退会者、死亡会員の認証ポイントを利用してポール・ハリス・フェローの達成を薦めた。又マッチング・グラントの変更点、地区補助金の報告書提出の注意の詳しい説明があった。

GSEの団員は4人であったが特別な理由があれば3人でも編成できることになった。

そのほか色々な手続きの注意点の説明があった。

☆大口寄付コーディネーター、年次寄付コーディネーターと地区財団委員長の協議

18名の参加者が2グループに分れ、コーディネーターがリーダーとなり、

- ①年次寄付については「毎年あなたも100ドル」をの推進、
- ②寄付0クラブの払拭、
- ③ポール・ハリス・ソサエティのメンバーを152名に増やす。

大口寄付については、

- ①10000~25000ドルの大口寄付者を118名とする、
- ②25000ドル以上の大口寄付をしてくれそうな人を各地区6名リスト・アップし1名実現する、
- ③アーチ・クランフ・ソサエティの日本人メンバーを8名から2名増やし10名とする。

以上の目標を達成するための手段、方法を討議した。いずれも無理をしないで努力してみましょと、力強い?意見を述べ、質疑応答のみを経て午後2時閉会した。



国際親善奨学金委員会 委員長

瀧川 哲夫
(札幌手稲 RC)

ロータリー財団 国際親善奨学金委員会からのお知らせ

1. 2007-08年度国際親善奨学生（候補者）7人

2006年9月末にロータリー財団へ正式申請書類を送りました。正式決定は来年1月の予定です。みんな張り切ってオリエンテーション、ロータリー行事に参加しています。



写真左から、宮崎 悠（みやざき はるか、文化研修3ヵ月、ドイツ、札幌手稲 RC）、清水 侑（しみず ゆう、文化研修6ヵ月、アメリカ合衆国、札幌大通公園 RC）、厚谷 若菜（あつや わかな、文化研修6ヵ月、アメリカ合衆国、新札幌 RC）、村上 沙織（むらかみ さおり、1学年度、アメリカ合衆国、留萌 RC）、島垣 潤二（しまがき じゅんじ、マルチイヤー、ドイツ、江別 RC）、荒生 聖乃（あらおきよの、マルチイヤー、カナダ、小樽 RC）、柳沢 ゆかり（やなぎさわ ゆかり、マルチイヤー、フランス、札幌幌南 RC）。

2. 当地区へ財団奨学生来札



今年度、奨学生自身が当地区を選んだ奨学生（1学年度）が9月に来札しました。韓国第3730地区の奨学生、趙 誠培（チョー・ソンベ）さんです。スポンサークラブは冬のソナタでおなじみの地、チュンチョン（春川）RC、ホストクラブは札幌手稲 RC です。北海道大学大学院農学院の博士課程に入学しました。日本から派遣する財団奨学生は年間200人くらいいますが、逆に日本を選ぶ奨学生は20人弱と少なくなっております。これから3年間滞在して博士学位取得を目指します。

3. 2008-09年度国際親善奨学生の募集

ロータリー財団の決定で2008-09年度から奨学金が減額されました。同時に、これまでの金額は必要額支給の上限でしたが、全額一律支給に変わります。文化研修3ヵ月は1万ドル、同6ヵ月は1万5千ドル、1学年度とマルチイヤー（2年）は2万3千ドルとなります。

当地区では、07-08年度と同様、①文化研修3ヵ月、②文化研修6ヵ月、③1学年度、④マルチイヤー（2年）の枠で、合計7～8名程度を採用する予定です。募集要項は1月頃に公表・配布します。応募締め切りは4月、地区の面接選考は6月を予定しています。

応募者を広く募っていただきますよう、また推薦にあたっては、必ずクラブ面接をおこなっていただきますよう、お願いいたします。



GSE 委員会 委員長

岡崎 芳明
(小樽南 RC)

GSE (研究グループ交換) について御存知ですか？

GSE (研究グループ交換) プログラムは、ロータリー財団の中の代表的な教育的プログラムの一つであります。

しかし GSE という事をロータリアンの方に尋ねると、(ああ GSE は外国人の方をクラブで受け入れ、ロータリアンの家にホームステイをさせながら観光させるあれですね・・・) という反応が返ってくる事も珍しくありません。本来 (研究グループ交換) という名前からわかります様に、受け入れだけではなく派遣も含め初めて交換と言えます。又 (研究グループ) ですから研究する為のグループ、つまり観光させる事を目的として受け入れや派遣をするのではなく、異国文化の体験と職業研究とが要です。

GSE プログラムは、職業を持った25歳から40歳までの職業経験の比較的浅い職業人の方を対象にしており、海外への派遣を通して自分の職業は海外でどの様に行われているかを体験し、その経験を自国に持ち帰り、地域に貢献出来る国際人を育て上げるプログラムです。つまり職業人の方を派遣し、職業人の方を受け入れるプログラムであり、その地区で選考された将来有望な職業人の集まりが GSE 団員であるという事です。

受け入れた際には、観光という事でその国の文化体験をさせる事も大切ですが、必ず行って頂きたい事は、受け入れる際にメンバーの職業を調べ、その方々と同じ様な職業の訪問や体験をさせてあげるという事です。(受け入れたメンバーに対し滞在中最低5日間の職業研究日が義務付けられております) RI 第2510地区の予定では、1グループ内の滞在期間は1週間以内ですから、各グループでは必ず最低1日以上は受け入れメンバーそれぞれの職業研究の機会を与えて上げなければなりません。また滞在中1週間の内に1~2回はロータリークラブ例会などを訪問する機会を作り、ロータリークラブの理解とロータリアンとの親睦を図って頂きたいと思っております。GSE という受け入ればかり目立っておりますが、GSE 団員を派遣するという事こそ、地区にとっては重要な意味を持つ事でもあります。それは海外での経験を生かし、国際的な視野を持つ人材を育てられる事と、世界的な規模のロータリアンの奉仕活動、ロータリー財団活動の素晴らしさ等を体感し、派遣後には、学友会会員として、また時にはロータリアンとなり、内外からサポートしてくれる人物になる可能性が生まれるという点です。

次年度、当地区は、マレーシア RI 第3300地区と GSE 交換をする事が決定しました。既にお互いの地区からの GSE 交換申請書はロータリー財団へ提出され受理されております。又、皆様のお陰で RI 第3300地区への派遣チームリーダーも決定しました。派遣チームリーダーは函館 RC の佐原正三会員です。佐原チームリーダーの経歴等は GSE のホームページを御覧下さい。 ○ GSE ホームページアドレス (<http://www.ri2510.gr.jp/gse/>)

次年度に向けての GSE 委員会活動を簡単に説明致します。

10月末〆切で派遣団員を募りましたので、11月12日(日)に選考委員により選考試験をし、派遣団員4名を決定する予定です。その後、決定した派遣団員へ約10ヶ月間毎月派遣研修を行い、次年度10月の RI 第2510地区の地区大会出席後にマレーシア RI 第3300地区へ4週間(28日間)派遣を行います。

又 マレーシアよりの GSE 派遣団員受け入れは、次年度地区大会の時期を含む4週間となっております現在正式な日程詰めを行っております。来年の2月位から地区内のガバナー補佐の皆様へ御相談申し上げ、受け入れグループ及びホストクラブ、受け入れコーディネーターを決定する予定になっております。出来る限り RI 第2510地区全体を網羅するように受け入れを検討して参りますので、受け入れのホストクラブを望まれるクラブがございましたら、どうぞ私の方までご一報下さい。

その後は 受け入れの2ヶ月前までに受け入れスケジュールとホームステイファミリーを決定し、RI 第3300地区へ英語に翻訳して渡さなければなりませんので、担当 GSE 委員と受け入れホストクラブのコーディネーターが密接な打ち合わせをして参ります。

次年度の GSE プログラムに際し今後地区内の皆様には、色々と御協力をお願い申し上げる事になると思いますが、どうぞロータリーの暖かい友情と奉仕の精神にて、お力添えを頂ければ幸いです。

最後になりましたが、普段よりロータリー財団活動に御理解と御支援を頂戴している事に御礼を申し上げますと共に、今後とも GSE 活動に対しましても、更なるお力添えをお願い申し上げます。



補助金委員会 委員長

朝倉 正人
(札幌東 RC)

地区補助金について

ロータリー財団は皆様会員のご寄付でご存知の通り、人道的・教育的・文化的プログラムの活動をしており、この基金が地区財団活動資金となり地区が国際親善奨学生を海外に送るほか、マッチング・グラント地区補助金の源資となり飢える者に食料を、渴く者に水を、病める人に医療を提供することができ、財団が世界で親善・理解・平和を推進するという使命を果たせるよう、研究グループ交換チームやロータリー世界平和奨学生を助成する資金となります。

また、世界からポリオを撲滅する運動を1988年から活動しておりますが、多くの資金と時間をかけ、現在も継続中でございます。

世界的にはまだ識字力の足りない地域に対して向上する活動をしておりますし、目の見えない人の視力を回復するため、ロータリアン眼科医の派遣に必要な資金も提供しています。他にも多くの支援及び援助活動をしているのは皆さんもご存知のことと思います。

ロータリーは世界の恵まれない人々にもたらすことができるのはロータリー財団を皆様方が毎年支援して下さるからです。

『毎年あなたも100ドル』を個人的寄付として実践して下さるようお願い申し上げる次第でございます。

身近な地区の活動として国際親善奨学生、GSE、財団学友、そして補助金委員会があります。補助金委員会の活動については3つ位の活動に対して補助金を支出致しますが、マッチング・グラントと地区補助金が多いと思います。委員会は各クラブから活動計画書、申請書が提出され、それを厳正かつ適切に審査することになります。

このRI第2510地区には73のロータリークラブがありますが、各クラブでは職業奉仕、社会奉仕活動をしております。その中で独自の奉仕活動、地域に密着した活動に対して、また自ら会員が汗を流す奉仕活動に対して補助する、援助することになります。

ただ物を買って差し上げることは遠慮して頂き、継続事業については対象外となります。

マッチング・グラントは2ヶ国以上のロータリークラブが協力し、活動する奉仕に補助するものであります。

クラブでは社会奉仕委員会と世界社会奉仕委員会との連動になろうかと思っております。

補助金の支出する目安として3年前のロータリー財団への寄付及びクラブの自主申告の実績表を参考にし、活動内容を審査し判断して参ります。

活動内容についてはロータリー財団地域セミナーハンドブックに詳しく記載されておりますのでご参照して下さい。

昨年度は29,000ドル予算があり多くの申請がありましたが、今年度は28,000ドルの予算が用意しておりますが現在数件の申請しかなく、各クラブからの活動計画書をお待ちしているところです。

しかし、予算の関係もございまして満足な補助金は出せないと思っておりますが、できるだけ考えていきたいと思っております。

内容、予算についてご遠慮して頂く場合、また減額のお願ひもあると思っておりますのでご理解を頂きたいと思っております。

いずれにしても、丸山ガバナー、遠藤ロータリー財団委員長、監督委員会さんのご助言を頂き活動して参りますのでよろしくお願ひ致します。



財団学友委員会 委員長

桃井 康夫
(札幌清田 RC)

財団学友会の活動について

平成18年9月2日土曜日、札幌センチュリーロイヤルホテルにて『第3回帰国財団学友報告会』が開催されました。

遠藤ロータリー財団委員長（パストガバナー）、石垣博美パストガバナーをはじめとしたロータリアン、派遣予定奨学生、交換留学生、学友など約60名の出席者のもと盛会のうちに、無事終了しました。

帰国報告会においては、第1部の個人報告として国際親善奨学生の清水由起子さん（札幌東 RC：ハワイ）浅野仁子さん（札幌西 RC：イギリス）本田康二郎さん（札幌西 RC：フランス）の3名が留学中の心温まる出来事や、思い出を画像を交えて報告しました。

第2部の文化研修・奨学生座談会には、佐久間早苗さん（札幌南 RC：アメリカ）田口雅子さん（恵庭 RC：カナダ）中川翼さん（札幌手稲 RC：カナダ）の3名が一緒に、座談会として壇上で報告しました。同じ国に行ってもホストロータリークラブによっては、まったく違う扱いをうけるという報告があったりして、興味深い座談会になりました。

第3部は、06年度・GSE（タイ派遣）チームが報告をしました。

GSE 体験談として、田畑美保さん（札幌北 RC）中内健太さん（札幌清田 RC）後藤敦さん（札幌西 RC）高倉美穂子さん（上磯 RC）の4名が、1ヶ月に及ぶ研修の感想を、各自の職業がタイではどのような状況であるかを、画像を交えて報告しました。

以上の報告会と、懇親会を含め4時間以上にもなる会でしたが、あっという間に過ぎてしまいました。

ご参加いただいた、ロータリアンの皆様本当に有難うございました。

先日行われた、地区大会におきましても笹村久美子さん（苫小牧北 RC：ロシア）と中内健太さん（札幌清田 RC）が、地区財団フォーラムにて発表しました。

現在、学友会は、2006年10月時点で約300名に達します。学友は、各方面で皆さん活躍していますが、ロータリークラブの会員として活動している学友も増えてきています。当地区においても2名の会員がおります。

尚、学友会では、各ロータリークラブの要請に基づき積極的に、卓話に参加しています。宜しくお願いします。

賛助会員の各クラブには、財団学友会へのご支援・ご協力を頂き大変感謝を致しておりますが、尚一層のご支援・ご協力をお願いいたします。





オン・ツー・ソルトレークシティ委員会
委員長

遠藤 秀雄
(登別 RC・PG)

オン・ツー・ソルトレークシティ委員会 からのお知らせ

今回のロータリー国際大会は2007年6月17日から20日にかけて、米国ユタ州ソルトレークシティで開催されます。ソルトレークシティは西部といえども、粗野な開拓時代の様子とは異なり、ユタ州の州都として大都市の魅力を満載しております。世界でも著名なホテルやエンターテイメント、レストランや文化を楽しむことができる一方、小さな街特有の安全で家族的な雰囲気があります。また、ソルトレークシティでは、市民が80以上の言語を話すなど、ロータリーと同じような、誰をも歓迎する環境が整っています。少し足を伸ばせば、グランドキャニオン、ラスベガスへ行くことができます。

地区オン・ツー・ソルトレークシティ委員会では、この国際大会に参加するための2コースをご用意致しました。是非、この機会に世界中から集まる家族、友人、ロータリアンと共に最大の年次行事である国際大会へご参加下さいませようご案内申し上げます。

【Aコース 大会参加5日間 300,000円 旅行期間：2007年6月16日(土)～6月20日(水)】

日次	月日(曜)	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	旅 程	食 事		
						朝	昼	夕
1	2007年 6月16日 (土)	新千歳空港発 羽田空港着 成田空港発 ロサンゼルス着 ロサンゼルス発 ソルトレークシティ着	11:30 13:00 17:00 11:10 午後 午後	NH058 専用車 NH006	バスにて成田空港へ <日付変更線> 着後、ホテルへ 夜：北海道ナイト <ソルトレークシティ泊>	-	○	機内
2	6月17日 (日)	ソルトレークシティ	午前	専用車	半日：ソルトレークシティ市内観光 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ソルトレークシティ国際大会出席 大会参加と開会式参加</div> <ソルトレークシティ泊>	○	○	×
3	6月18日 (月)	ソルトレークシティ			終日：自由行動(大会2日目) <ソルトレークシティ泊>	○	○	×
4	6月19日 (火)	ソルトレークシティ発 サンフランシスコ着 サンフランシスコ発	午前 午前 12:00	専用車 航空機 NH007	空港へ サンフランシスコへ 成田空港へ <機中泊>	○	機内	-
5	6月20日 (水)	成田空港着 成田空港発 千歳空港着	15:00 18:00 19:35	NH2155	直行便にて新千歳へ	機内		○

※ご注意：発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。 宿泊ホテル：シェラトンシティセンター（ソルトレークシティ）
で旅行料金は燃料費等の値上りで変更が生じる場合がございます。



【Bコース 大会参加7日間 390,000円 旅行期間：2007年6月16日(土)～6月22日(金)】

日次	月日(曜)	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	旅 程	食 事		
						朝	昼	夕
1	2007年 6月16日 (土)	新千歳空港発 羽田空港着 成田空港発 ロサンゼルス着 ロサンゼルス発 ソルトレークシティ着	11:30 13:00 17:00 11:10 午後 午後	NH058 専用車 NH006	バスにて成田空港へ <日付変更線> 着後、ホテルへ 夜：北海道ナイト <ソルトレークシティ泊>	-	○	機内
2	6月17日 (日)	ソルトレークシティ	午前	専用車	半日：ソルトレークシティ市内観光 ソルトレークシティ国際大会出席 大会参加と開会式参加 <ソルトレークシティ泊>	○	○	×
3	6月18日 (月)	ソルトレークシティ発 ラスベガス着	朝 午前 午前	専用車 航空機	空港へ 着後、上空よりグランドキャニオン観光 <ラスベガス泊>	○	○	×
4	6月19日 (火)	ラスベガス			終日：自由行動 <ラスベガス泊>	○	×	×
5	6月20日 (水)	ラスベガス			終日：自由行動 <ラスベガス泊>	○	×	×
6	6月21日 (木)	ラスベガス発 サンフランシスコ着 サンフランシスコ発	朝 午前 午前 12:00	専用車 航空機 NH007	空港へ サンフランシスコへ 成田空港へ <機中泊>	○	機内	-
7	6月22日 (金)	成田空港着 成田空港発 千歳空港着	15:00 18:00 19:35	NH2155	直行便にて新千歳へ	機内		○

※ご注意：発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。

ご旅行料金は燃料費等の値上りで変更が生じる場合がございます。

宿泊ホテル：シェラトンシティセンター（ソルトレークシティ） 宿泊ホテル：パリ・ラスベガス（ラスベガス）

【お問合せ・お申込み先】 株式会社 JTB北海道 苫小牧支店（担当：福永・沼田）
苫小牧市表町2丁目1番7号 王子不動産第一ビル4階
電話：0144-33-7548

国際大会登録に関して

国際大会の第一次締切日は2006年12月1日です。事前登録の最終締切は3月31日で、それ以降は現地での登録となります。事前登録は登録書式を日本事務局奉仕室までクラブでお取り纏めの上お送り戴いてもかまいません。その際、登録料のお支払いはクレジットカードもしくは銀行振込みとなります。銀行振込みの場合は、下記の口座にお振込みの上、登録書式をご送付下さい。

(国際ロータリー取り扱い分専用口座)

振込先：三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 6733244

名義：国際ロータリー日本事務局 事務局長大島四郎

また、事前登録の締切日は、厳格に定められております。登録書式も締切日必着でございますし、登録料も上記口座に締切日までに着金していることが必要となります（翌日扱いは無効となります）。

※登録書式は全てアルファベットでご記入下さい。署名は日本語でも結構です。



米山記念奨学委員会 委員長

大石 春雄
(札幌はまなす RC)

台湾米山学友会主催シンポジウム

『日本留学を考える～異文化との出会い～』に参加して

近年台湾から日本に留学する学生が減少しているのではないか。「もう一度日本留学について考えよう」

台湾米山学友会主催シンポジウムが9月23日土曜日、台大醫院國際會議中心で行われ、当地区から丸山淳士ガバナーを筆頭に16名、日本全国から総勢115名の参加があり、台湾学友会から熱烈な歓迎を受けました。

冒頭、(社) 中華民國扶輪米山會、陳思乾理事長 (1973-75年米山奨学生) より、私たち 中華民國扶輪米山會 (台湾米山学友会) は、かつて日本へ留学し、幸運にもロータリー米

山奨学生として選ばれた仲間の集まりです。と挨拶があり、シンポジウムの目的について述べられました。

基調講演では、一橋大学留学生センター教授、横田雅弘氏から「日本留学の魅力とその現状」について、中央研究院院士・農学博士、廖一久氏 (1965-68年米山奨学生) から“台湾からの日本留学者は理工系志望が多かった。これからは多くの優秀な法律や政治分野の学者を育て、台湾を真の近代国家に脱皮させてもらいたい”と台湾の近代化における留学生の役割について講演があり、最後に統一超商(株)(セブンイレブン台湾社長) 徐重仁氏 (1976-77年米山奨学生) から“子供の頃から父の話に影響を受けて、一心に日本留学を考えていました。日本留学は人生の転機であり、又米山奨学生としてロータリークラブの皆さんと交流した経験は深い影響を与え、帰国後のロータリアンになるきっかけとなりました。”と講演されました。「徐氏は現在、セブンイレブン・ダスキン・無印良品・スターバックスなどを台湾に誕生させ、1995-96年度台北東海 RC 初代会長、1995-2000年度扶輪米山會理事長など活躍中。」

パネルディスカッションでは、4人のパネリストのトップとして黄詩淳さんが演題に立ちました。当地区で今年の6月まで札幌真駒内 RC がお世話した米山奨学生、黄さんは2004年に北大博士課程に進み、高齢社会の相続法をテーマに2年3ヶ月という異例の速さで

法学博士の学位を取得した優秀な奨学生です。

黄さんは、“日本留学で得られたものはたくさんありますが、人生の方向性を見つけることができました。裁判官や弁護士を目指すことに迷いを感じておりましたが、留学先の指導教員の仕事ぶりに感銘を受け、研究・教育職に就くことに決めたのです。”廖一久氏が言う「真の近代国家になるために欠かせない人材」が一人誕生したわけです。

“ロータリアンとして、ロータリー米山記念奨学会に携わって本当に良かった。”

先達ロータリアンの功績が、私たちをこんなに満ち足りた思にさせてくれたことに深く感謝し、台湾を後にしました。





世界社会奉仕委員会 委員長

齋藤 修弥
(室蘭 RC)

WCS 委員会活動報告

「札幌南 RC とノンカイ RC のトイレプロジェクトが完成しました」

かねて札幌南 RC とタイ国ノンカイ RC との間で進められていた小学校に対するトイレプロジェクトが完成し、その写真が先日ノンカイ RC 会長から送られてきました。とても綺麗で清潔な仕上がりで、子供たちが本当に喜んでいる様子がよく判ります。

札幌南 RC は昨年度もノンカイの小学校に対する浄水施設事業を行っていますので、2年連続の協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

この他新年度に入り既に5つの RC から事業申請書の提出あるいは提出予定の申し出をいただいております。これまで実施した事業につきましては、先日開設した当委員会のホームページに詳しく掲載しておりますのでご参照ください。尚、事業申請方法等もホームページに載せていますが、ご不明の点があれば何なりとメールまたは FAX などを利用してご質問をお寄せください。

当委員会は本年も「識字率の向上」と「水資源の確保」事業に正面から取り組み、世界社会奉仕事業を充実していきたいと願っておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



秋季キャンプ報告～青少年交換委員会～

毎年、恒例となっております青少年交換委員会主催の秋季レクリエーションキャンプが、9月23、24日の2日間にわたって、余市のホテル水明閣で開催されました。参加対象者は、海外からの受入留学生8名、来年渡航する派遣候補生3名、過去の青少年交換プログラムの経験者（ROTEX）2名、各ホスト・クラブのロータリアンの方々です。

受入留学生のみなさんは、オーストラリアからのカイリーさん（札幌 RC）、マデレインさん（札幌 RC）を除いて、来日してからまだ1ヶ月と2週間ぐらしかたっていません。毎日、日本語の習得にがんばっていますが、どんなに早い人でも、ある程度日本語を理解するのに3ヶ月以上はかかります。したがって、この時期はまだ日本語に不自由なため、ホームシックになったりしやすい時期でもあります。今年来日した留学生同士が集まって、宿泊するのはこれが初めてですので、皆さんはこの日を楽しみにしていました。

初日はまず、ニセコまでラフティングに出かけました。これには学生全員と、札幌東 RC 奥貫会長が挑戦されました。ラフティングはニセコ・尻別川を1時間半にわたって下る長丁場で、途中、学生同士で水をかけ合ったり、和気藹々の様子でした。外国からの観光客が日本人以上に多く、そのため、従業員も外国の方がいて、ニセコの国際化を感じさせました。夕食後はみな、カラオケに興じ、ROTEX の高崎君、浅井君を中心にして、派遣候補生の大泉さん（札幌モーニング RC）、高島さん（千歳 RC）、濱谷さん（小樽南 RC）も留学生たちと次第に打ち解けていきました。

翌日は、寝不足気味の人もいたようですが、朝早くからブドウ狩り、そして地元の祭りである「味覚の祭典」を見学しました。会場では、よさこいソーランの演舞もあり、留学生はみな、興味深そうでした。来日9ヶ月のマデレインさん、カイリーさんは踊ったことがあるそうです。以上で全日程を終了し、アメリカからのタリンさん（札幌東 RC）、アマンダさん（函館 RC）、カナダからのクリスティーナさん（北広島 RC）、フィンランドからのエーツ君（札幌手稲 RC）も含めてみなで次の再会を約束し、帰途につきました。委員会としまして、慣れない言葉と文化のなかで留学生の皆さんの元気な様子に接し、うれしく感じました。半年後のスキーキャンプ、また来年7月のさよならパーティーでの、皆さんの成長した姿を報告したいと思います。（報告者 地区青少年交換委員 西田雅之）



ラフティング出発前で、皆さんはりきっています。



夕食後のくつろぎのひととき。



2日目の朝、ホテル前に集合。寝不足の人が多いです。



地元の祭り会場で、北海道仁木商業高等学校生と交歓。
左からカイリーさん、一人おいてウィリアム君、マデレインさん、奥貫さん。



留学生と英会話を楽しむ派遣候補生。
左から大泉さん、アリーシャさん、高島さん、濱谷さん。

「第25回全国ロータリー野球大会地区予選
RI 第2510地区親睦野球大会」を開催して

静内ロータリークラブ

毎年、甲子園を目指して行われる地区予選大会・地区親睦野球大会が9月2日（土）静内で行われました。今年は7チームの参加となり昨年の6チームから1チーム増えました。

前夜祭（9月1日）は丸山ガバナーも出席され、7チームが一同に会し和やかかつ盛大に行われました。今年は趣向を凝らしたゲームを楽しみ、試合の順番を決めるのも静内ならではの競馬方式で行い場内を湧かせました。

静内では過去2回の大会を開催していますが、いずれも雨であったため、今回も皆心配しましたが、当日は快晴で絶好の野球日和でありました。丸山ガバナーから歓迎の言葉をいただき大会が始まり会場を二箇所使い各チームともスムーズな進行に心がけていただいたおかげで順調に進みました。

わが静内チームは強豪岩見沢と一回戦であたり前半リードしたが後半逆転され敗退してしまいました。今回は、第8グループの混成チームも参加し一回戦は勝ちましたが、二回戦で涙を吞みました。決勝は岩見沢と伊達。時間一杯戦い同点で終了。最後はジャンケン勝負となり、ここでも試合と同じく接戦で5対4でからくも岩見沢が優勝となり来年の甲子園の切符を手に入れました。

来年は伊達クラブの主催で大会を開くことが決定しています。今回は、1チームでも多くの参加があり楽しく親睦を深める大会となることを願うものです。

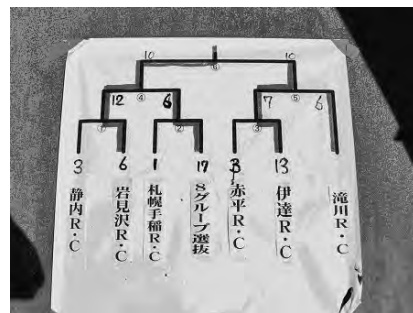
以上



開会式



優勝旗授与：優勝 岩見沢ロータリークラブ



試合結果：決勝は同点のためジャンケンで決めた（岩見沢が5対4で勝利）。

2009-2010年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 丸山 淳 士
地区ガバナー指名委員長 佐藤 秀 雄

2009-2010年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適合していることを要します。

【参考】 国際ロータリー細則第13条（ガバナー指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

ガバナー公式訪問

室蘭東RC公式訪問



登別RC公式訪問



室蘭RC公式訪問



伊達RC公式訪問



洞爺湖RC公式訪問



函館亀田RC公式訪問



江差RC公式訪問



七飯RC公式訪問



函館北RC公式訪問



上磯RC公式訪問



ロータリー財団寄付

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌清田 RC	若林 成治	会員 (1回)	9月1日
新札幌 RC	木須 哲夫	会員 (1回)	9月1日
新札幌 RC	高田 芳夫	会員 (1回)	9月1日

ポール・ハリス・フェロー

札幌西北 RC	加藤 武久	会員	9月22日
新札幌 RC	村田 晃啓	会員	9月 1日
新札幌 RC	中西 泰司	会員	9月 1日

米山奨学会寄付

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

江別 RC	中川 清志	会員 (2回)	9月28日
札幌モーニング RC	中川 重熙	会員 (1回)	9月 6日
札幌西北 RC	中嶋 成実	会員 (1回)	9月21日
札幌真駒内 RC	森谷 明弘	会員 (4回)	9月21日

米山功労クラブ

札幌西北 RC	12回	9月21日
札幌東 RC	31回	9月29日

新入会員のご紹介 (敬称略)



岩見沢 RC **津久井 好 雄**
平成18年8月18日入会



苫小牧 RC **山 口 祐 正**
平成18年10月6日入会

アクターの恋、実を結ぶ。



5年前の夏、留萌でのローターアクト地区大会が、赤平ローターアクトクラブ元会長、大宝勝洋君と留萌ローターアクトクラブ元会長、中島永子さんの初の出会い。

留萌黒潮太鼓の腕前を披露する中島さんの姿に、生涯最大級の一瞬惚れの大宝君は、愛の告白も虚しく、何度か挫折。メール攻撃、花束攻撃とポイントを稼ぎついに、昨年5月陥落に成功。平成18年9月9日、ゴールイン。幸せカップル誕生。

地区内の多数のアクトメンバーから祝福されラブラブな二人に乾杯。

大ちゃん・チャコちゃんお幸せに！！

(地区ローターアクト委員 田中 隆志)

2006年11月 国際ロータリー為替レート 米貨1ドル当たり=118円

【例会曜日・例会時間・例会場の変更について】

クラブ事務局所在地の変更

札幌大通公園 RC の事務所所在地が下記に変更となりました。

〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目1

ライオンズM第3大通801 高橋 宏様方

電話・FAX 011-301-2552 E-mail: qqnf3ms9@vanilla.ocn.ne.jp

- 岩内 RC** : 岩内 RC の例会会場であるホテルうきよが10月31日で閉鎖されました。
11月1日以降の例会会場は下記に変更になります。
新例会会場: 岩内商工会議所2階 〒045-0003 岩内郡岩内町万代47-1 電話 0135-62-1184
- 江別西 RC** : 11月7日(火)の例会は下記に変更
11月9日(木) 江別 RC・江別西 RC 合同夜間例会 18:30~ 場所: 江別市民会館
11月21日(火) は会場が使用できないため下記に変更
場所: 勤労者研修センター
11月28日(火) 休会 (IM の振替のため)
- 江別 RC** : 11月23日(木) 休会 (法定休日のため)
- 岩見沢 RC** : 11月17日(金) の例会は IM のため下記のように変更
11月18日(土) 第3グループIM 14:00~ 場所: くりやまカルチャープラザEki
- 苫小牧 RC** : 11月3日(金) 休会 (法定休日のため)
- 苫小牧東 RC** : 11月2日(木) 王子製紙(株) 苫小牧工場見学 13:00~14:00
通常例会・食事 (12:30~) 終了後移動
11月23日(木) 休会 (法定休日のため)

文庫通信 (229号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「青少年のために」

- ◎ 「ロータリーとRYLA」 今井 鎮雄 2005 4p (「D.2750 第1回RYLAセミナー報告書」)
- ◎ 「人を育てる」 深川 純一 2005 22p (「ライフワークショップレポート」)
- ◎ 「如何に育てん我らの新世代」 藤川 享胤 2005 10p (D.2620 地区大会)
- ◎ 「異文化を超えて」 水野 正人 2006 6p (「第11回ロータリー青少年交換研究会東京会議報告書」)
- ◎ 「星野の人づくり」 星野 仙一 2006 12p (D.2690 地区大会)
- ◎ 「スポーツにみるリーダーシップ」 小幡 日出男 2005 10p (D.2780 地区大会)
- ◎ 「生かそう日本の心」 童門 冬二 2006 15p (D.2530 地区大会)

[上記申込先: ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

出席報告

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			06.7.1	06.9.30	増減	内女性	
1	深 川	4	37	39	2	2	80.56
	羽 幌	4	44	50	6	1	96.11
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	87.50
	小 平	5	15	15	0	0	77.33
	留 萌	4	49	50	1	0	87.20
	小 計		155	164	9	3	85.74
2	赤 平	4	33	33	0	1	85.16
	芦 別	4	46	46	0	0	81.39
	砂 川	4	53	52	-1	0	96.00
	滝 川	4	100	100	0	0	78.00
	小 計		232	231	-1	1	85.14
3	美 唄	4	41	41	0	0	93.60
	江 別	4	37	37	0	1	84.71
	江 別 西	3	33	34	1	3	86.86
	岩 見 沢	4	90	93	3	0	89.21
	岩 見 沢 東	4	35	37	2	4	89.70
	栗 沢	4	22	22	0	1	92.04
	栗 山	4	30	33	3	2	95.22
	当 別	4	37	37	0	1	76.35
	小 計		325	334	9	12	88.46
4	札 幌	4	124	129	5	0	99.36
	札幌あけぼの	5	17	18	1	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	26	1	4	80.00
	札 幌 北	3	36	37	1	6	89.47
	札幌モーニング	4	53	52	-1	0	69.79
	札 幌 西	4	73	76	3	4	90.90
	札幌西北	4	43	45	2	3	96.43
	札幌手稲	4	39	39	0	1	97.44
	小 計		410	422	12	19	90.42
5	札 幌 東	4	113	115	2	0	97.15
	札幌清田	4	25	25	0	6	100.00
	札幌幌南	5	66	67	1	0	100.00
	札幌真駒内	4	42	42	0	3	98.13
	札 幌 南	3	88	91	3	0	97.85
	札幌大通公園	5	14	14	0	4	82.85
	札幌セントラル	4	16	16	0	5	84.38
	新 札 幌	4	31	32	1	2	89.06
	小 計		395	402	7	20	93.68
6	岩 内	3	28	28	0	0	74.36
	倶 知 安	4	48	48	0	3	64.06
	小 樽	4	71	71	0	1	85.38
	小 樽 南	5	77	77	0	0	90.44
	小樽銭函	4	24	24	0	3	79.50
	蘭 越	4	11	11	0	0	75.38
	余 市	4	41	41	0	4	87.80
	小 計		300	300	0	11	79.56

9月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,945人
当月末会員数(女性)	3,007人(97人)
増加会員数	62人
当月平均出席率	85.50%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			06.7.1	06.9.30	増減	内女性	
7	千 歳	4	68	69	1	3	85.50
	千歳セントラル	4	27	29	2	0	76.75
	恵 庭	4	45	45	0	0	83.33
	北 広 島	3	20	20	0	2	81.67
	長 沼	4	18	18	0	3	91.68
	由 仁	4	13	13	0	0	71.15
	小 計		191	194	3	8	81.68
8	え り も	4	22	22	0	0	94.32
	三 石	3	17	17	0	1	98.00
	様 似	4	18	18	0	1	75.00
	静 内	5	76	79	3	0	100.00
	浦 河	4	34	34	0	1	92.65
	小 計		167	170	3	3	91.99
9	伊 達	4	56	56	0	0	76.78
	室 蘭	4	45	50	5	0	100.00
	室 蘭 東	4	45	47	2	0	91.80
	室 蘭 北	4	38	38	0	2	100.00
	登 別	4	32	32	0	2	81.25
	洞 爺 湖	5	8	8	0	0	90.00
	小 計		224	231	7	4	89.97
10	函 館	4	89	91	2	0	80.60
	函館亀田	3	44	45	1	2	73.34
	森	4	39	40	1	0	70.00
	七 飯	4	16	16	0	0	81.00
	長 万 部	4	6	6	0	0	70.80
	函館セントラル	4	40	37	-3	2	70.27
小 計		234	235	1	4	74.34	
11	江 差	5	19	20	1	0	52.70
	函館五稜郭	4	64	65	1	0	100.00
	函 館 東	4	41	44	3	4	82.92
	函 館 北	4	29	32	3	0	96.77
	上 磯	4	17	18	1	2	76.40
	松 前	4	7	7	0	0	70.00
小 計		177	186	9	6	79.80	
12	白 老	4	19	19	0	0	76.80
	苦 小 牧	5	50	53	3	1	70.73
	苦小牧東	4	30	30	0	3	84.16
	苦小牧北	4	36	36	0	2	88.24
	小 計		135	138	3	6	79.98
合 計		2,945	3,007	62	97	85.50	

※7月1日現在の札幌東RCの会員数を訂正しております。

地区カレンダー (11月・12月)

11月 ローターリー財団月間			
1(水)		17(金)	
2(木)		18(土)	第3グループIM (栗山)
3(金)	文化の日	19(日)	
4(土)		20(月)	
5(日)		21(火)	
6(月)		22(水)	
7(火)		23(木)	勤労感謝の日
8(水)			ロータリー財団地域セミナー (岡山)
9(木)		24(金)	ガバナー会・地区会員増強委員長合同セミナー (岡山)
10(金)		25(土)	米山学友会 (北海道) 総会及び懇親会 (札幌)
11(土)~	第4回 RI 指針検討委員会会議 (東京)		ロータリー研究会 (岡山)
12(日)		26(日)	ロータリー研究会 (岡山)
13(月)		27(月)	
14(火)		28(火)	
15(水)		29(水)	
16(木)		30(木)	

12月 家族月間			
1(金)	第98回年次大会 (ソルトレークシティ) 第1次登録締切日	16(土)	
		17(日)	
2(土)		18(月)	
3(日)	上磯 RC 創立10周年記念式典 (函館)	19(火)	室蘭北 RC 創立35周年記念式典
4(月)		20(水)	
5(火)		21(木)	
6(水)		22(金)	
7(木)		23(土)	天皇誕生日
8(金)		24(日)	
9(土)		25(月)	
10(日)		26(火)	
11(月)		27(水)	
12(火)		28(木)	
13(水)		29(金)	
14(木)		30(土)	
15(金)		31(日)	



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2006-2007 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
